

11月20日(土)小杉文化ホールラポールにて、
人権のつどいが開催され、寸劇「今、女たちは」を発表しました。



推進委員会の5年間の歩みをふりかえって

射水市男女共同参画推進委員会委員長 瀬山 和子

射水市が誕生してから1市3町1村の推進員が一緒になり、それぞれの地域で行っていた活動や活動地域の変化にしばらくは戸惑いがありました。しかし、推進員が主体となって男女共同参画推進条例制定に向け、素案の検討に「市民ワーキング会議」委員として連日会議に参画しました。そして、射水市男女共同参画推進条例は平成18年12月議会定例会で承認され、平成19年4月から施行されました。

その間、市民に理解を深めてもらうためにフォーラム「パートナーシップのまちづくり」等を開催し、推進員自らが司会・受付・運営を始め地域の身近な問題を取り上げた朗読劇も演じ、推進員の熱意と協力で成功裡に終えることができました。このことが推進員の結びつきと自信につながり、各地域への啓発活動が実施されることとなりました。

「越中だいもん凧まつり」に参加し、男女共同参画の取り組みを広くPRし理解を深めていただきました。また、「仕事と生活の調和」について市民の皆さんが自分ほどの位置に属するのを見えるようにしたツールとして活用していただくチェックシートを作成しました。(推進委員会PR用ポケットティッシュに掲載)

今後は「射水市男女共同参画推進条例」の理念に基づき、共同参画の大切さや情報をストレートに発信するだけでなく、男女、世代別、雇用者か否かなどできめ細かな分類化、練り上げの後に啓発を行い、男女共同参画が井戸端会議や職場で話題になるくらいの“庶民性”を持たらと思っています。そうなるか否かはひとえに、私たち推進員の啓発活動のあり方などにかかっていると思います。



4月15日(木) 射水市男女共同参画推進委員会委嘱状交付式

39名の男女共同参画推進員に委嘱状が交付されました。任期は平成22年4月から平成24年3月までの2年間です。よろしくお祈りします。



放生津	江尻昭
放生津	姫野美和子
新湊	鶴川美子
新湊	海老江勝美
新湊	長徳一
中伏木	三島久幸
塚原	新谷洋子
塚原	長堀征雄
作道	奥野京子
作道	本江重吉
片口	高林一登
片口	出戸明美
堀岡	瀬山和子
堀岡	竹林龍太郎

本江	三並豊美
海老江	川田常雄
海老江	高和洋子
七美	矢野順子
三ヶ	木下嘉奈子
戸破	出口理香
橋下条	松本洋子
金山	田中みち子
大江	山崎良子
黒河	松永秀子
池多	坪田美洋
太閤山	竹内茂
中太閤山	堀川克子
南太閤山	酒井三津代

大門	帯刀敏子
水戸田	若崎和子
二口	佐伯日登美
二口	前手政幸
浅井	松本吉晴
櫛田	山崎京子
大島	井波和博
大島	杉岡美恵子
大島	宮脇春美
下	藍口陽子
下	島倉静子

9月11日(土) 男女共同参画巡回講座を開催して(新湊地区)

作道公民館

連合自治会長さんを始め、地区の多くの方々の協力を得て、67名の参加による巡回講座を開催しました。はじめに、ワーク・ライフ・バランスとDVの説明、推進員の熱の入った朗読劇『お茶は誰が入れるの』がありました。その後、3つのグループに分かれての話し合いと発表を行い、とても盛り上がった雰囲気、楽しく終える事ができました。ありがとうございました。



グループに分かれ、家庭の男女共同参画について話し合いました。日頃実践していることなど、たくさんの意見が出ました。

(作道地区推進員 本江重吉)



推進員が朗読劇を発表しました。

男女共同参画巡回講座

- 7月28日(水) 大門地区 浅井公民館
- 7月30日(金) 大島地区 大島公民館
- 8月25日(水) 小杉地区 小杉ふれあいセンター
- 9月8日(水) 下地区 三箇コミュニティ
- 9月11日(土) 新湊地区 作道公民館

9月11日(土) シンガー英樹コンサートを企画しました!(大島地区)

大島公民館

男女共同参画事業の一環として、懐かしいフォークソングとおしゃべりを楽しんでもらう『シンガー英樹コンサート』を開催したところ、45名の参加がありました。

県東部出身のシンガー英樹さんは、男女がお互いの思いやりの心を持つ重要性、また、家庭で、社会で、そして職場での一人ひとりの個性と能力を発揮できる社会の構築等をユーモアたっぷりに話され、会場は笑いに包まれました。



また、ギター演奏で感情豊かにフォークソングを唄うその姿は、コピーバンドとはいえ、かぐや姫そのものだと思います。懐かしい思い出がよみがえってきて、とても有意義な時間を共有することができました。

また、機会があればこのような企画を立てたいと考えています。

(大島地区推進員 杉岡美恵子)

11月21日(日) 射水市ボランティアフェスティバルに参加して 小杉社会福祉会館



昨年度に引き続き参加したボランティアフェスティバルで、私たちは、寸劇『今、女たちは』を発表しました。この寸劇は、第1幕「お茶は誰が入れるの」、第2幕「介護は誰がするの」で構成され、演技を通じて、家庭での男女の役割や協力について考えてみようという投げかけました。会場には大勢の人たちが参加されていたのですが、男女共同参画推進員の活動について知っている人は少なく、私たちの活動はまだまだだと感じました。男女共同参画社会の実現を目指し、これからも多くの人々に興味を持ってもらえるよう推進活動を続けていきたいと思ひます。

(金山地区推進員 田中みち子)

2月12日(土) 富山県男女共同参画推進員地域別研修会に参加して 高岡ふれあいセンター

はじめに、県の男女参画・ボランティア課より「男女共同参画の推進の状況」について説明がありました。全国的な視点から見た富山県における行政分野での位置付け、また、家庭や職場における状況では、平成21年度に実施した意識調査から、意識と現実のギャップがわかり、富山県の県民性を知ることができました。

その後、射水、氷見、高岡の各連絡会からは、それぞれ1年間の活発な活動が報告され、互いの活動を比較することができ、今後の参考になる部分がたくさんあったように思ひます。

また、講演会では「生活の中から考える男女共同参画」について、世界から見た日本の状況が、先進国の中ではまだまだ遅れていることを知りました。

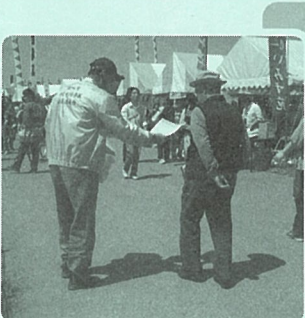
私たち推進員の活動がとても大切なことを再認識させられる有意義な研修会でした。

(塚原地区推進員 新谷洋子)



推進委員会では街頭啓発を実施しています

5月16日(日) 越中だいまもん凧まつり会場



啓発紙とポケットティッシュを配布して、推進委員会をPR



6月23日(水) JR小杉駅

男女共同参画週間(毎年6月23日~29日)をPR



11月21日(日) ボランティアフェスティバル会場



女性に対する暴力をなくす運動(毎年11月12日~25日)をPR

ひとりひとりが輝く、 色彩あふれる世界、京都へ



日本女性会議 2010
きょうと

～「日本女性会議2010きょうと」に参加して～

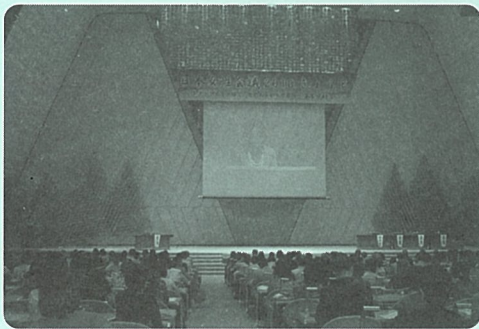
男女共同参画推進員 堀川 克子

国際文化観光都市、環境モデル都市、そして大学の街、京都へ。今回は観光ではなく、歴史ある『日本女性会議』へ射水市から参加する貴重な機会をいただきました。

初日午後は、国際会館入口であてやかな和装姿の実行委員に出迎えられ、夕べの交流会では、池坊次期家元による「いけ花デモンストレーション」や京都市交響楽団メンバーによるアンサンブル演奏で歓迎されました。

翌日の閉会式でも、茂山狂言会によるアトラクション狂言「濯ぎ川」の鑑賞と大会長 門川京都市長、実行委員長 池坊次期家元の粋なあいさつ、フィナーレのNPO「京小町踊り子隊」によるエネルギーな振袖演舞など隔々に「京都のおもてなしの心」を感じる大会企画と演出でした。

私が参加した第4分科会のテーマは、「ワーク・ライフ・バランス (WLB) 働き方革命！～企業も家族もみんなハッピーバランス～」で、21世紀前半の喫緊課題との触れ込みでした。特に、パネリスト佐々木常夫氏(現KK東レ経営研究所特別顧問)は、20年間に43回もの入退院を繰り返した妻を助け、3人の年子を育てるために朝5時半起き、夕方6時退社の育児、家事、介護の日々を送らざるを得ない状況でも、仕事への情熱を捨てず会社再建や事業改革に取り組み、10年前、同期トップで取締役就任された方です。「30～40代は、遅くまで仕事をすればよいのではなく『人生のタイムマネジメント』(例:仕事、家事、コミュニティへの時間配分)を考え、最短で最大の効果を生む効率スキルを実践すべき時」「家庭と社会のバランスを阻害している労働問題に取り組み、当たり前前の生活と労働を取り戻そう」「自分の幸せは自分でつかみ取れ」「運命を引き受け、自分で選んだ人生を全うせよ」等々、小気味よい言葉が胸に響き、圧倒されました。



日本女性会議の始まりは、26年前の名古屋市からとのこと。常連の参加者から一昨年開催された富山大会の好印象を聞き、大会運営にかける日本全国の人々の心意気と歴史の重みを感じました。

今回は、島根県松江市で開催される日本女性会議、射水市から参加される方にどんな新しい出会いが生まれるのか、楽しみです。

推進員も勉強しています

7月26日(月) サンフォルテカレッジを活用して研修会を開催しました。推進員活動について、不安なこと、やりたいことなどを話し合いました。



7月26日(月) サンフォルテカレッジを活用して研修会を開催しました。推進員活動について、不安なこと、やりたいことなどを話し合いました。

10月25日(月) 21世紀職業財団富山事務所の伊藤所長より、「仕事と家庭の両立支援とワーク・ライフ・バランス」について、講義を受けました。



編集後記

今年度は、夏の猛暑、冬の大雪、ニュージーランド地震、東北地方太平洋沖地震など、天変地異の多い1年でしたが、私たち推進員は、巡回講座や街頭啓発などを通じて、市民の皆さんへ男女共同参画を伝えてきました。私たちは、もっと勉強して、楽しく、わかりやすく、活動の輪を広げていきたいと思っています。(前手 政幸)